



令和8年 1月

# 余田小 学校だより



R8.1.8現在 55名

1年: 6名 2年: 11名

3年: 7名 4年: 8名

5年: 6名 6年: 17名

【学校教育目標】余田を誇り、「よ」き心と「た」しかな学びで生き抜く児童の育成

【めざす学校像】「言葉」を大切にし、生き抜く力を育むために、家庭や地域とともに歩む学校

【めざす児童像】学びを楽しめる子・自他を大切にする子・たくましく生き抜く子

## 馬

旧年中は余田小学校に温かなご支援・ご指導を賜り、誠にありがとうございました。歳も新たに「午年」を迎えて、教職員も児童も心新たに三学期を迎えたところです。

「馬」は誰もが「力強く常に前に進む」というイメージを持ってもらえることと存じます。正にそのイメージから、「馬」は前進・飛躍の象徴であり、故に繁栄・成功に恵まれる年とされているそうです。特に本年は「丙（ひのえ）」の午年ということで、より一層エネルギーに満ちあふれた縁起の良い年なのだそうです。年が変わったからと言って、その瞬間から我々自身が大きく成長を遂げるものではありませんが、前進・飛躍の象徴である「馬」の力を信じて、新しい挑戦や変化を前向きにとらえる年にしたいものです。

「馬」は古来より人間に近しく、たとえば移動の手段として、或いは「馬力」の言葉どおり労働力として、大きく生活に関わってきました。「馬」にまつわる格言は、我々に教訓として示唆を与えるものが多く、余田小学校も努めてまいります。

### ◎「馬には乗ってみよ 人には添うてみよ」

（意味）物事や人の本質は、実際に経験しないとわからないものである。人との出会いを自身の糧とし、二の足を踏みがちな新しいことへの挑戦を前向きに進めることに努めます。

### ◎「馬の耳に念仏」

（意味）どんなに良い教えや戒めも聞く耳を持たない人には効果がない。他人の意見や耳に痛い忠告に素直に耳を傾けて、自分の成長につなげていくことに努めます。

### ◎「老いたる馬は 道を忘れず」

（意味）経験豊富な老人は、体力が衰えても知識や経験が豊富であり、役に立つ。先達の教えを大事にするとともに、自分自身が知識や経験を豊富に蓄えることに努めます。

三学期も伝統行事の「どんど焼き」を皮切りに、日々の授業、さまざまな行事等で、ご家庭・地域の皆様のお力添えを頂戴する機会がございます。どうぞこれまで同様、余田っ子の成長のために、変わらぬ温かなご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

末広がりの令和「八」年。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 火災予防避難訓練

12月3日、火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は、理科室から出火した場合を考え、火元から遠ざかる最短経路で運動場に避難しました。避難後、余田保育園の園児の皆さんと一緒に消防士さんから防火に関するお話や水消火器を使った初期消火の指導を受けました。

もしものときは、命を守る行動を。けれども、まずは火事を起こさないように心がけたいと思います。



## チューリップの球根植え

4日の昼休み、2～5年生が中庭の花壇にチューリップの球根を植えました。地域ボランティアの下土井さん、小川さん、小田さん、生田さんに教えていただきながら、たくさんの球根を一つ一つ丁寧に植えました。春には満開のチューリップで、新1年生を迎えられそうです。



## 3・4年生はなっこりー収穫

23日、3・4年生が下土井さんの畑に植えさせていただいたはなっこりーの収穫に行きました。下土井さんのはなっこりーは無農薬栽培。なんと採れたてを生で食べることもできちゃいます…とテレビでやっていたので子どもたちもトライ。余田の大地の恵み。どんな味だったかは3・4年生の子に聞いてみてください。



## 防火パトロール

23日、5・6年生が防火パトロールに参加しました。防火の半被をまとい、拍子木をもって「火の用心 マッチ一本 火事のもと」など掛け声をかけながら、余田小から宝積台団地を回りました。今冬も全国各地で大きな火事が起きています。余田っ子たち、そして余田の地域の皆さんの無事をお祈りしています。



消防士さんより、林野火災注意報・警報の運用が開始されますというお話がありました。発令されると、屋外でのたき火などの行為が制限されるそうです。

詳しくは柳井消防組合ホームページで。

余田小 LINE オープンチャット

